

教育行政方針

本文は、市議会3月定例会で行った教育行政方針演説の一部を抜粋したものです



教育長 岸本和行

高浜市教育委員会としては、平成20年度次の事項に力を入れて教育行政に取り組みます。

【学校力の向上】 〈教師力の向上〉

教師力とりわけ授業力の向上に本年度も引き続き取り組んでまいります。「確かな授業づくり事業」や「現職研修」における授業研究の日常化を推進し、お互いが学びあう風土の構築を目指します。そして、教育論文への応募を積極的に行い、初任者研修に引き続き、若手研修を実施し、若い力を鍛えていきたいと思います。

〈信頼される開かれた学校〉

各学校は、様々な情報を種々たよりやホームページ等によって家庭や地域に発信しています。特に、ホームページの更新率で本市は、7校の平均で85%を超える全国的にも特筆すべき自治体と言われています。今後は、さらに内容の充実を図っていき

たいと思います。

また、学校評価支援委員会を立ち上げ、これまで実施してきました自己評価、学校関係者評価をさらに推し進め、学校が元気になる学校評価活動に取り組んでいきます。

〈家庭力・地域力〉

家庭には基本的な生活習慣をつけること、規範意識や善悪の判断、モラルやマナーも含めた「しつけ」的な部分の役割と責任をしっかりと果たしていただけるよう求め、地域には、地域に育つ子どもを自分の子どもと同様に褒めたり叱ったりすることができるよう呼びかけていきたいと思います。

【一人ひとりを大切にす教育の充実】

〈心の教育の充実〉

言うまでもなく教育の根幹は人格形成です。集団生活をとおり、子どもたちは、ルール、モラル、マナーなどの社会性を身に付けていきます。加えて、道徳の時間を中心に子どもたちの心を揺さぶり、善悪の正しい判断力、規範意識の向上や思いやりの心の醸成等道徳性の向上に努めていきます。さらに、総合

的な学習の時間や学校行事等で様々な経験を通し自己肯定感や達成感を味わわせるとともに、あらゆる教育活動とおして忍耐力や困難に打ち勝つ力等をつけさせ、意欲を沸き立たせるような支援をしていきます。

〈学力の向上〉

子どもたちに相応の学力をつけさせることは学校教育の責務です。市長のマニフェストにありますように、サポートティーチャー等の充実を図り、今年度はさらにきめ細かな少人数指導を実施し、より一人ひとりを大切にす教育の実現に努力し、子どもたちの基礎学力の向上を目指します。そして、習得した知識を活用する場面を取り入れた問題解決学習の実践を多くし、学ぼうとする意欲を高めていきたいと思います。

〈特別支援教育、外国人支援、いじめ不登校対策、学校不適応支援〉

発達障害等のある子ども一人ひとりを見つめ、通級指導やスクールアシスタント、スクールサポーターの活用を図ります。メインコーディネーターと各校のコーディネーター同士の連携

は基より、幼稚園や保育園、福祉部との連携を強化し、ライフステージの中の学齢期としての支援を心掛けるとともに、指導の一貫性に留意してまいります。

増加著しい外国人児童生徒は、日本の文化・風習に慣れず、言葉も理解できないために疎外感を感じるためか、学校不適応に陥りやすい傾向にあります。そのため、ポルトガル語を中心とした外国人児童生徒通訳者を本年度1名増員して対応していきます。

いじめで苦しんだり不登校児童生徒を出さないための日々の教員の取り組みとともにいじめ・不登校対策事業の充実を図っていきます。また、登校訓練や悩み事相談等について、生徒指導相談員や不登校対策相談員を配置したり、両中学校には、「登校できるが学級には入れない」生徒の学習や相談をするスクールヘルパーを配置したりします。

【教育環境の充実】

学校間をインターネットで結んだ情報機器が、厳重なセキュリティ体制の下、本格的に活用され、行事予定や児童生徒の個人情報管理や事務の効率化が図

られます。

老朽化した高取小学校の体育館を改修し、懸案でした洋式トイレの設置も高浜中学校を最後に1系統は完了します。そして、高浜小と吉浜小の渡り廊下耐震補強工事の実施により全学校の耐震化が完了します。修繕等現状を補いつつ、子どもたちに古い校舎だけと勉学に励むには良い環境で愛着がもてる学舎だったと言ってもらえるよう、辛いところの手が届くがごとく学校現場と連携して環境整備に取り組んでまいります。

教育を取り巻く環境は大きく変貌しています。子どもたちの学ぶ意欲の低下、規範意識・自律心の低下等学校教育が抱える課題は一層複雑且つ多様化しています。学校の果たす役割はきわめて重要ですが、家庭や地域社会も子育ての役割と責任を担ってならなければならない時代だと考えます。教育の目的は人格の形成です。高浜市教育委員会としては、子どもたちの健全やかな成長を願い、学校現場が生き生きと教育活動ができるよう人的・物的支援や当面する教育課題に対する指導・支援をしてまいります。